

【地区の魅力】

市街地周囲をとり囲む半田山、京山、操山等の丘陵地が、地区の東側を流れる旭川とともに、本地区の魅力ある景観構造を構成している。また、水路は既成市街地内を縦横無尽に流れ、その一部が西川・枝川緑道公園として整備され、都心の緑の景観軸となり、市内外から訪れる人々に親しまれている。

後楽園・岡山城は県を代表する歴史、文化、観光資源であり、都心の貴重な緑地環境を形成しており、また、総合グラウンドは、レクリエーション拠点であり、広大な広場を併設する緑濃い貴重なオープンスペースを創出している。

JR岡山駅を中心とした都心部では、商業・業務・文化施設等が集積しており、現代的な活気、賑わいとともに後楽園・岡山城などの歴史的資源、旭川の清流などが醸し出す風格ある景観が形成されている。

【地区の課題】

地区を取り囲む丘陵地は、良好な市街地景観を構成するとともに、都市環境の形成に寄与していることから、適切に維持・保全することが必要である。

JR岡山駅前周辺では、県都にふさわしいにぎわいと風格ある顔づくりを重点的に取り組むことが必要である。

生活交流都心では、賑わいを創出するとともに、緑のネットワークなど、快適でアメニティの高い景観を誘導することが必要である。特に、西川緑道公園は整備されてから長い年月が経っており、施設の老朽化や樹木等も繁茂している状態であり、現在のニーズを取り入れた再整備が望まれる。

後楽園周辺地区では、後楽園や岡山城と調和した歴史・風致景観の創出を図るとともに、園内からの良好な眺望景観の保全、岡山城周辺の城郭としての景観の復元が必要である。

【地区の魅力となる景観資源】



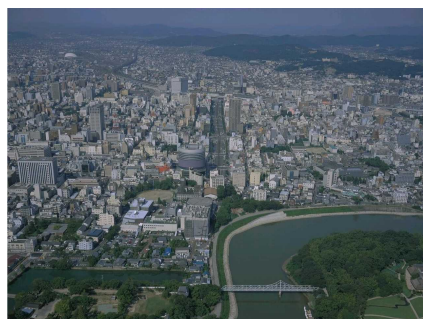
操山からの眺望景観



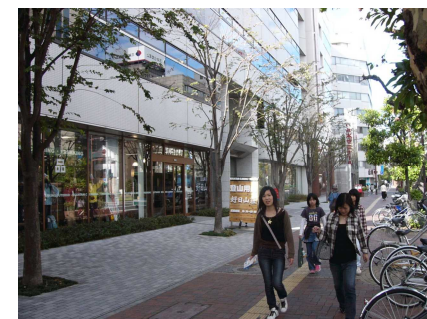
親水性のある旭川河畔



旭川、操山の風景に溶け込む岡山城



自然、歴史、文化、都市機能の集積する都心部



開放的な街路景観（市役所筋）



緑濃い西川緑道公園



カルチャーゾーンの街並み



観音寺水路沿いの静かな住宅地



市民の憩いの場である総合グラウンド

【景観づくりの目標】

県都として集積した都市機能を活かし、中四国の中核都市にふさわしい活気と風格のみなぎる都心の顔づくりを進めるとともに、城下町として培った歴史的資源を守り伝えながら、自然、歴史、文化が融合した未来へ引き継ぐべき市街地景観づくりを目指す。

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 中心市街地の魅力的な景観形成を図る	岡山の玄関口にふさわしい、にぎわい、風格が感じられる都市を象徴する顔づくりを進める。
	道路、水路など市街地の総合的な緑化、親水性の確保により、水と緑のネットワークを形成する。 沿道建物等の魅力的なデザインの誘導とともに、安全で快適な街路景観を形成する。
2. 旭川や用水路などの水辺空間のアメニティを向上させる	旭川を身近なアメニティ空間として活用する。
	水路の石積護岸を活かした水辺景観と親水性を高めたアメニティ空間を形成する。
3. 西川緑道公園の魅力さら向上させる	公園の管理運営に携わる市民ネットワークを広げ、緑道公園の安全・防犯性を高めるとともに、多様な魅力を創出する。
	緑道公園内で人が集まり、イベントを開催できるような広場を確保し、賑わいを創出する場として活用する。
	緑道公園沿いに立地する街区公園との連続性をだすなど、公共施設は緑道公園との一体性を持たせるように景観上配慮し、歩行者優先の歩いて楽しい公園とする。 緑道公園沿いの街並みは、公園との一体性を図り、より良好な景観が形成されるように誘導していく。
4. 歴史的資源の保全や良好な眺望景観を形成する	後楽園や岡山城及びその周辺の歴史的街並み、風致景観を守り、形成する。
	文化施設が集積する岡山のカルチャーゾーン周辺においては、周辺と調和する優れた街並み景観を形成する。
	後楽園内からの良好な眺望景観を守り、形成する。 市街地に残る歴史的建造物を保全・活用する。
5. 市街地を囲む緑の景観を保全、形成する	半田山など市街地を取り囲む貴重な緑地を守る。
	半田山・操山への眺望を確保する。 既存の景観資源を活かしながら、緑の景観軸を形成する。
6. 一般市街地の良好な景観誘導を行う	緑化、建物のデザイン誘導により良好な住宅地景観を形成する。
	自然と調和したゆとりある良好な住宅地景観を形成する。